

講義名	日本語 A (読む)			授業形態	
担当教員	野村 由香里	開講期・曜日・時限	後期 火曜日 2 時限		
		単位数	2	履修開始年次	1 年生

主題と概要

- ・大学では自分分野の専門の論文を読み、最終的には学生自身が卒業論文の執筆をしなければならない。
- ・学術論文を読むに必要な文法知識、構造に関する知識などを学びながら、各自の専門分野の論文を独力で読んでいくための基礎的読解力をつける。

到達目標

- ・留学生が、専門の学術論文を読むに必要な文法知識や構造に関する知識を身につける。
- ・留学生が、各自の専門分野の論文を独力で読んでいくための基礎的読解力をつける。

提出課題

授業時に指示する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

授業時に指示する。

評価の基準

中間試験30% + 期末試験30% + 課題40% = 100%

履修にあたっての注意・助言他

1. 出欠確認は毎回点呼を行う
2. 5 回以上欠席した場合は期末試験を受けることができない
3. 授業が始まって 1.5 分以内の入室は遅刻とみなし、遅刻 3 回で 1 回の欠席となる
4. 1.5 分以上の遅刻は欠席とみなす（授業は受けてもよい）
5. 授業時には辞書を携帯すること

教科書

.1 回目の授業後、決定する。

参考図書

. 留学生のための時代を読み解く上級日本語。	宮原 彬	スリーエーネットワーク	2000	4-88319-384-5
. 中上級学習者のための日本語読解ワークブック。	目黒 真実	アルク	2400	9784757416222
. 上級学習者のための日本語読解ワークブック。	目黒 真実	アルク	2400	9784757419292

その他

日本語の新聞

授業計画

- 第1回目 授業ガイダンス / 実力テスト
 予習内容：シラバスに目を通し、この授業で何を学習するのか、どんなことができるようになるかを熟知しておく。(60分)
 復習内容：実力テストを振り返り、難しかった問題や間違えていた問題をもう一度、よく見直しておく。(180分)
- 第2回目 「異文化適応」(1)
 予習内容：本文をよく読み、未知の語彙や表現を調べておく。(120分)
 復習内容：授業中に読んだ文章を何度も読み返し要約しておく。(120分)
- 第3回目 「異文化適応」(2)
 予習内容：本文をよく読み、未知の語彙や表現を調べておく。(120分)
 復習内容：授業中に読んだ文章を何度も読み返し要約しておく。(120分)
- 第4回目 「いじめ」(1)
 予習内容：本文をよく読み、未知の語彙や表現を調べておく。(120分)
 復習内容：授業中に読んだ文章を何度も読み返し要約しておく。(120分)
- 第5回目 「いじめ」(2)
 予習内容：本文をよく読み、未知の語彙や表現を調べておく。(120分)
 復習内容：授業中に読んだ文章を何度も読み返し要約しておく。(120分)
- 第6回目 「衝動買いを誘導する」(1)
 予習内容：本文をよく読み、未知の語彙や表現を調べておく。(120分)
 復習内容：授業中に読んだ文章を何度も読み返し要約しておく。(120分)
- 第7回目 「衝動買いを誘導する」(2)
 予習内容：本文をよく読み、未知の語彙や表現を調べておく。(120分)
 復習内容：授業中に読んだ文章を何度も読み返し要約しておく。(120分)
- 第8回目 中間試験
 予習内容：中間試験に備えこれまで学習した課をよく読み返し、設問やその回答などを見直しておく。(120分)
 復習内容：中間試験を振り返り、回答を再検討してみる。(120分)
- 第9回目 「おいしい食感の理由」(1)
 予習内容：本文をよく読み、未知の語彙や表現を調べておく。(120分)
 復習内容：授業中に読んだ文章を何度も読み返し要約しておく。(120分)
- 第10回目 「おいしい食感の理由」(2)
 予習内容：本文をよく読み、未知の語彙や表現を調べておく。(120分)
 復習内容：授業中に読んだ文章を何度も読み返し要約しておく。(120分)
- 第11回目 「日本人の意識」(1)
 予習内容：本文をよく読み、未知の語彙や表現を調べておく。(120分)
 復習内容：授業中に読んだ文章を何度も読み返し要約しておく。(120分)
- 第12回目 「日本人の意識」(2)
 予習内容：本文をよく読み、未知の語彙や表現を調べておく。(120分)
 復習内容：授業中に読んだ文章を何度も読み返し要約しておく。(120分)
- 第13回目 「フリーター問題」(1)
 予習内容：本文をよく読み、未知の語彙や表現を調べておく。(120分)
 復習内容：授業中に読んだ文章を何度も読み返し要約しておく。(120分)
- 第14回目 「フリーター問題」(2)
 予習内容：本文をよく読み、未知の語彙や表現を調べておく。(120分)

授業形態（アクティブ・ラーニング）

○	ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
	ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
	オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
	キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

この科目の修得は流通科学大学の定めるディプロマポリシー「知識を知恵に転換することができる、論理的思考力を持った人材」の育成に關与している。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考